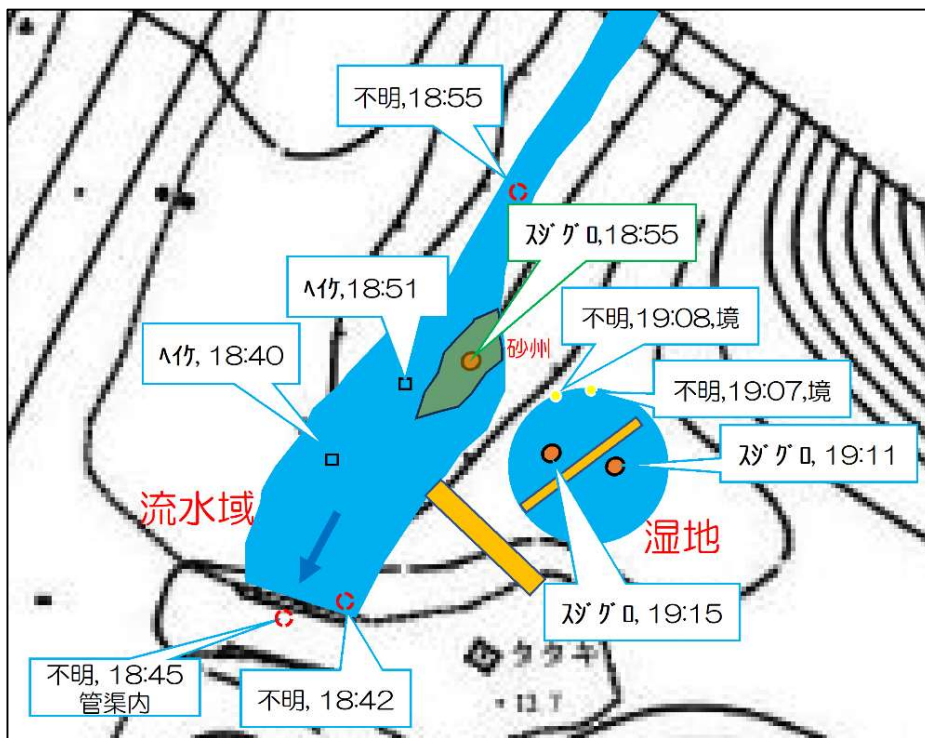


▶ 秋のホタル幼虫調査③

11月21日(火)に秋の調査3回目を実施、久木池上流①ではほぼ全域でヘイケボタルとスジグロボタルの幼虫を確認、そのうち同定ができたのはヘイケボタル2個体、スジグロボタル3個体でした(図-1)。スジグロボタルは流水域の砂州を安定した生息地としている他、10月の調査で湿地も生息地としていることが判明しています。今回も湿地で2個体を確認しました。一方、気温・水温の低下に伴って、活動する幼虫が少なくなっていることが分かりました(図-2)。

このほか、西の谷戸③及び東の谷戸①で幼虫を確認しています。

なお、先月1個体出現した“秋ボタル”は、この時期は流石に出ませんでした。



注)
 ▲竹: ▲竹ボタル,
 スジグロ: スジグ
 ロボタル,
 不明: 種不明,
 境: 水陸境界

図-1 ホタル幼虫調査結果、久木池上流①(11月21日)

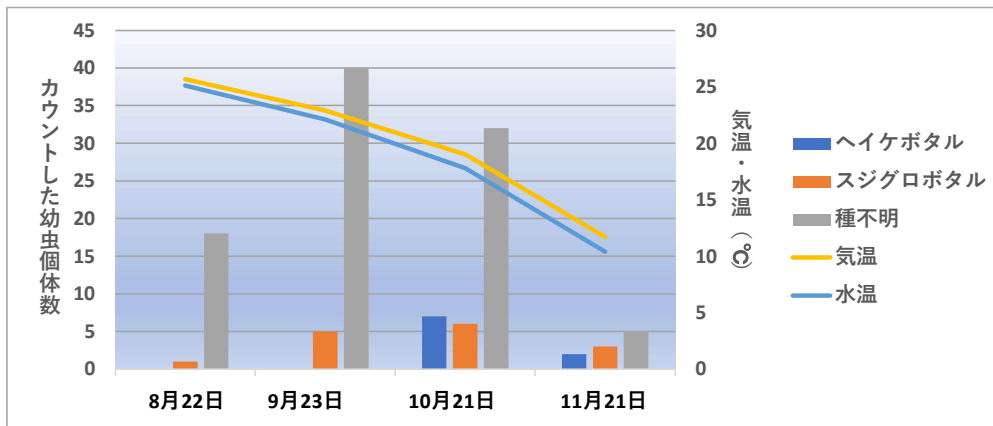


図-2 ホタル幼虫個体数と気温・水温の変化、久木池上流①